

非営利一般社団法人日本甲状腺協会

趣意書

第1版令和4年6月13日

第2版令和4年6月16日

第3版令和5年3月1日

実施内容:

※バナー広告と共催社の掲載は申込日から1年間

理事長:山田 正信

(群馬大学 名誉教授、群馬大学大学院、前甲状腺学会理事長)



寄付賛助委員会:赤水 尚史

(隈病院長、元甲状腺学会理事長、前内分泌学会理事長、前 President of AOTA)

事務局:非営利一般社団法人日本甲状腺協会

〒108-0023 東京都港区芝浦三丁目17番11号天翔田町ビル1009

電話番号:080-6645-9425 (友松理事携帯)

E-mail: ftj-office@fthyroidj.jp

ご挨拶

本協会は、甲状腺疾患に関する問題の究明及び解決、かかりつけ医の先生方や薬剤師、看護師さん、国民の皆さんへの啓発、疫学調査や適切な検査法や治療法の調査・開発を目的として、2022年5月2日発足しました。

甲状腺から分泌される甲状腺ホルモンは、人の成長や脳の発達に重要であるばかりでなく成人では、脂質代謝や骨粗鬆症、動脈硬化、高次脳機能障害など種々の疾患発症と深く関与しています。したがって、甲状腺機能異常は国際的に解決しなければならない社会的に重要な課題です。

さらに甲状腺の乳頭癌（成人の10人に一人が罹患）を代表とする甲状腺の悪性腫瘍はがんの中で最も罹患数の高い疾患で、最近のゲノム医療でも最先端を走っています。

また、甲状腺ホルモン薬は世界で一番処方されている薬剤であり、抗甲状腺剤と並んでかかりつけ医の先生方にも適切な使用が求められています。さらに、近年の免疫チェックポイント阻害薬やチロシンキナーゼ阻害薬、副腎皮質ホルモン、リチウム薬など甲状腺機能や形態異常を起こす薬剤が多く明らかになっています。

このような近年の状況の中、一般社団法人日本甲状腺学会は、学会活動などにより甲状腺疾患の病態解明や甲状腺診断・治療のガイドラインの作成、甲状腺専門医の育成に注力されています。一方、かかりつけ医の先生方や看護師・臨床検査技師・放射線技師・薬剤師・栄養士などの医療スタッフ、そして一般市民への甲状腺疾患、そして適切な診断法・治療法・治療中の検査などについて教育し啓発する機関はありませんでした。

そこで本協会は、上記の教育と普及啓発、啓発を推進するため、会員を甲状腺の専門の先生方ばかりでなく、かかりつけ医の先生方、看護師・臨床検査技師・放射線技師・薬剤師・栄養士などの医療スタッフ、農学・理学・薬学研究者、国民などで構成する予定です。また、世界各国甲状腺疾患の疫学調査を行い、脂質異常症や高血圧、糖尿病、動脈硬化症など様々な疾患の発症の原因となっている事をより一層明らかにしたいと考えています。

さらに甲状腺疾患がある人は「特定の属性に対して刻まれる負の烙印=スティグマ」（社会的偏見による差別、差別されるのではないかという恐怖）に苦しんでいることも挙げられます。甲状腺疾患の治療に向かわなくなると、QOLや社会生活などにおいて、さまざまな不利益を被ることになる弊害があり、疾患を隠すことなく適切な治療を受け、甲状腺疾患がない人と等しく参画できる社会を作っていく必要性についてあらためてアドボカシー活動を行う必要もあります。

本協会は、活動を2022年度から開始し、記の啓発活動の他、このようなアドボカシー活動や国民のさらなる健康寿命の延伸とQOLの向上にお役に立てるものと確信しております。さらに、患者さんの会に支援などを行い、国際甲状腺協会との連携も考慮中です。本協会の活動の趣旨にご賛同いただき、2023年度もご支援ご援助を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人日本甲状腺協会
理事長 山田正信

寄付、賛助委員会委員長 赤水尚史
委員 伊藤光泰
伊藤公一
吉村 弘
友松盛浩

実施概要

1. 事業の名称

日本甲状腺協会の活動全般

2. 実施主体

一般社団法人日本甲状腺協会理事長:山田正信

(群馬大学 名誉教授、前甲状腺学会理事長)

寄付賛助委員会常務理事/委員長:赤水尚史

(隈病院 病院長、元甲状腺学会理事長、前日本内分泌学会理事長、
前 President of AOTA)

3. 実施概要

甲状腺疾患の適切な診断や治療の啓発活動

4. 協会の目的と意義

(一社)日本甲状腺協会は甲状腺疾患の健康障害に対する世界的な学問的および社会的関心の高まりのなか、疾患に対する基礎的及び臨床的研究の一層の充実を図るとともに、甲状腺疾患に対する正しい理解を一般医師やメディカルスタッフ、患者さん、一般市民に普及することを主な目的としております。

5. 透明性ガイドラインについて

日本製薬工業協会の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」に基づき「貴社で策定する「透明性に関する指針」に従い、下記を貴社のウェブサイト上に公開することに同意します。

・共催費に関する実施事業名、共催事業名とその金額

寄付金に関する実施事業名とその金額

6. 銀行口座

振込先:東和銀行前橋北支店/店番号:012

口座番号:普通 3446950

口座名:社)日本甲状腺協会

フリガナ:シャ)ニホンコウジョウセンキョウカイ

7. 予算案

2023（令和5年）年度：令和5年3月1日～令和5年12月31日

一般社団法人日本甲状腺協会

収支予算書

[収入の部]

項目	数量	単価	金額	備考
昨年度繰越金			3,484,535	
会費	500	300	150,000	
賛助会費 (企業、病院)	10	100,000	1,000,000	病院 50,000
寄付	10	10,000~500,000	2,000,000	
バナー広告	1	100,000	100,000	
共催費	1	500,000	500,000	
合計			7,234,535	

[支出の部]

項目	数量	単価	金額	備考
運営費			200,000	HP作成追加
ホームページ更新、 サーバー維持費	10	15,000	150,000	
税理士、弁護士費			300,000	
雑費			200,000	封筒など
会議費			200,000	
事務経費			1,000,000	
通信費			500,000	
合計			2,550,000	

次年度繰越金 4,684,535
収支予定 + 1,200,000

8. 問い合わせ先

非営利一般社団法人日本甲状腺協会

〒108-0023 東京都港区芝浦三丁目17番11号天翔田町ビル1009

電話番号：080-6645-9425（友松理事携帯）、（電話受付時間 10：00 ～ 17：00）

FAX 番号：027-220-8136

E-mail:ftj-office@fthyroidj.jp

協賛、共催申し込み書

FAX:027-220-8136

令和 年 月 日

非営利一般社団法人日本甲状腺協会殿 下記のように協賛・共催を
申し込みます。

企業・病院名：

担当者名：

住所：〒

電話番号：

FAX 番号：

メールアドレス：

協賛金：企業：100,000 円（一口） X _____ 口

会員（病院など）50,000 円（一口） X _____ 口

計：_____ 円振込予定日・振込日（どちらかを○）

年 月 日（尚、振込が確認され次第領収書を
メールでお送りいたします。）

ホームページへのバナー申し込み書

FAX:027-220-8136

令和 年 月 日

非営利一般社団法人日本甲状腺協会殿

下記のように貴協会のホームページのトップ画面にバナーを申し込みます。尚、バナーはリンク先アドレスとともに、ftj-office@fthyroidj.jpの日本甲状腺協会 広報係 宛に送ります。

企業・病院名：

担当者名：

住所：〒

電話番号：

FAX 番号：

メールアドレス：

バナー費用（どちらかを○を）

（ ） 100,000 円（協賛金なしの申請者）

あるいは（ ） 50,000 円（別に協賛金ありの申請者）

希望期間： 年 月から1年間

振込予定日・振込日（どちらかを○）： 年 月 日

（尚、振込が確認され次第領収書をメールでお送りいたします。）

大きさは横 165px×縦 65p、容量は 40KB 以下。

インターレース GIF89a フォーマットに限ります。GIF アニメーション可。